

第 293 回競技委員会議事録

1. 日 時：2025 年 6 月 4 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分

2. 会 場：四谷ブリッジセンター B1

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 12 で成立。

山後秀幸委員長、寺本直志、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、久富健史、吉田正、仲村篤志、浅越ことみ

Zoom で出席：波多江隆児、石橋瑞己、宋逸寒

欠席：山田和彦競技会事業担当理事、正村祐一

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：山後秀幸委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 各委員のワーキンググループの配置について

○マスターポイントに関するワーキンググループ（MPWG）

仲村篤志（グループ長）、山後秀幸、寺本直志、正村祐一、宋逸寒

○コンベンション・アラートに関するワーキンググループ（コンベンション WG）

吉田正（グループ長）、浅越ことみ、石橋瑞己、寺本直志、久富健史、ロバート・ゲラー、宋逸寒、貴戸祥郎

○競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループ（規則要項 WG）

寺本直志（グループ長）、浅越ことみ、ロバート・ゲラー、桜井雅子、山後秀幸、仲村篤志、吉田正、波多江隆児、宋逸寒

○ナショナル・リジョナルの試合環境に関するワーキンググループ（試合環境 WG）

斉藤千鶴乃（グループ長）、寺本直志、ロバート・ゲラー、桜井雅子、山後秀幸、宋逸寒、貴戸祥郎

○日本リーグ・クラブリーグ・IMP リーグに関するワーキンググループ（リーグ WG）

斉藤千鶴乃（グループ長）、寺本直志、ロバート・ゲラー、仲村篤志、正村祐一、宋逸寒

第 2 号議案 クラブディレクター承認の報告

尾高 麻里 239448 C-01235 神奈川県

鈴木 駿斗 246204 C-01236 宮城県

第 3 号議案 規則要項ワーキンググループからの報告

1) マルチ 2D に対するサンプルディフェンスの持ち込みについて、WBF は規則を変更し持ち込んで参照することを禁止した。それに伴い JCBL 管轄競技会での対応について審議した。国際試合に準じて行うトライアルについては、次の開催より禁止することとした。それ以外の競技会については意見がわかれたため、下記の通り議決を行った。

○今後 WBF に合わせて持ち込みを禁止するか。

賛成多数により、禁止する

○日本リーグについて、いつから禁止するか

賛成多数により、2025 年後期から禁止する

○それ以外の競技会について、いつから禁止するか

賛成多数により、2026 年 1 月から禁止する

これらについて会報で告知することとし、内容は事務局一任とする。

また、サンプルディフェンスを使用できないならばリスト C で使用できるべきであるという意見もあった。

- 2) 2 箇所の会場でスコアを合わせる STF ペアについて、2 月に行われた四谷横浜通信セクショナルの報告があった。暫定的に決めた各ストラットの比率が 20%以内であれば合わせてのスコア集計が可能であるという基準だったが、これは満たしていた。今後も引き続き 20%以内という基準は維持し、開催実績が増えた後基準について改めて検討することとした。
- 3) JCBL 主催競技会での喫煙違反への対応強化について、実施状況について報告があった。引き続き WG で検討する。
- 4) テストケースとして日本リーグ 2 部で導入している原則アラート禁止について審議した。実際にはアラートを要求しているプレイヤーも多く、また通常ルールであっても対戦相手にアラート禁止は要求できるため、2025 年後期リーグよりこれを廃止することとした。
- 5) JCBL 主催競技会においてセッション中スマホの電子決済を用いた自動販売機での購入について、通信機器使用違反とあたるかどうかについて審議した。審議の結果、ディレクターに許可を取った場合のみ可とし、そうでない場合は通信機器使用違反の対象となることと確認した。

第 4 号議案 MPSP ワーキンググループからの報告

- 1) サロンや練習会に対してマスターポイントを発行することについて、首都圏ブリッジセンター会議で意見交換を行ったという報告があった。WG で引き続き継続検討する。
- 2) 競技会の参加ポイントを発行することについての審議内容の報告があった。WG で継続検討する。
- 3) ジュニアプレイヤーの SP が実力以上に急激に上がるケースがあると指摘があり、WG で検討したことの報告があった。検討した事例は好成績の結果であり、問題点は検証できなかった。今後他に具体例な問題点の指摘があれば改めて検討することとした。

第 5 号議案 春季リジョナルについて

従来 SKO + スイス戦で行っていた春季リジョナルを本年度ラウンドロビンで行ったことについて、プレイヤーに行ったアンケート結果の報告があった。SKO + スイスよりラウンドロビンの方が良いとの回答が多かったが、同じくラウンドロビンのリジョナルである柳谷杯と時期が近いことを問題視する意見もあった。来年度以降について、ラウンドロビンを継続し、開催時期について検討していくこととした。

第 6 号議案 会員総会でのご意見について

ブルーリボン杯の参加資格の緩和についての提案があり審議した。BR 資格の獲得難易度が上がっているという指摘にはあたらぬという意見が多く、認めないこととした。

第 7 号議案 その他議案

- 1) ACBL が公開している Duplicate Decision 2020 について、HP にリンクを張ることで紹介することとした。
- 2) APBF 選手権にて WBF アラートポリシーと異なりダブル、リダブルのアラートが禁止であったという報告があり、状況を確認することとした。

次回競技委員会は 2025 年 8 月 6 日（水）18 時 00 分からの開催を予定し、以降 10 月 1 日、12 月 3 日の開催を予定する。

以上